



真心の行動
慈愛の奉仕
平和に挺身

1995—96年度国際ロータリーのテーマ

Herbert G. Brown

ハーバート G ブラウン
国際ロータリー会長

第2560地区
ガバナー——重田政信
会長——石橋育於
会長エレクト——捧賢一
副会長——五十嵐総一
幹事——松谷昊吉
副幹事——五十嵐昭一
S A A——清水良一
副 S A A——菊池涉

例会日——毎週水曜日 12:30～
例会場及び——三条市旭町2-5-10
事務局——三条信用金庫本店
例会場——TEL 35-3311
事務局——TEL 35-3477
FAX 32-7095

本日出席会員数	80名中 60名
先々週出席率	86.67 %
前年同期出席率	

2/27 三条北へ 渡辺喜彦さん
五十嵐昭一さん
吉井俊介さん
荻野保和さん

先週のメイクアップ

2/22 燕へ 関本哲秀さん
渡辺弘栄さん
2/23 新潟東へ 渋谷健一さん
2/26 三条南へ 古沢富雄さん
斎藤弘文さん
樺山 仁さん
熊倉昌平さん
渋谷正一さん

会長挨拶

石橋会長

本日は、来訪のお客様がお見えでなく
会員だけの例会です。

先日、2580地区東京の荒川ロータリー
の御一行40名程の方々が、親睦旅行の途
中に当店へ昼食を兼ねての懇親会という
ことでお出下さいました。約1時間半程
お寛ぎいただき、これから水原の瓢湖、
新潟の食品会社等を見学され、岩室温泉
にお泊りの予定とのことだそうです。楽
しい旅行になるように願いながら、お見
送りしながら今年の9月、当クラブの石
川県氷見方面の親睦旅行のことを思い浮
かべておりました。久しぶりの1泊2日
の旅行でしたが、又次の捧年度で計画さ
れましたら是非参加致したいと思ってお
ります。次年度の話をするのは、まだ早
いかも知れません失礼致しました。

幹事報告

松谷幹事

◎吉田ガバナーノミニ事務所より

1996～97年度R.Iテーマがとどい
ております。

「築け未来を行動力と先見の眼で」

◎例会変更のお知らせ！

三条北RC—3月5日(火)夜例会
PM6:30～ 於VIP

吉田RC—3月15日(金)→

3月16日(土)～17日(日)

一泊移動例会

3月のお祝い

◎会員誕生祝

- 2日 日戸平太さん
- 5日 小林正義さん
- 5日 三堀正純さん
- 6日 小林英雄さん
- 14日 平原二三郎さん
- 15日 岩井和夫さん
- 16日 小出子恵出さん
- 24日 山浦日出夫さん
- 31日 金沢興宗さん

◎夫人誕生祝

- 11日 渡辺洋子さん(嘉彦)
- 14日 渡辺ウメさん(宏策)
- 16日 熊倉恵子さん(昌平)
- 20日 佐原八重子さん(勇次郎)
- 21日 小林房子さん(九満太)
- 23日 加藤一代さん(紋次郎)
- 26日 内山セツ子さん(辰策)
- 26日 川又麻稚香さん(嘉瑞範)
- 29日 野水富子さん(文治)

◎結婚記念祝

- 16日 荻根沢隆雄さん
- 17日 金沢興宗さん
- 26日 関本哲秀さん

ニコニコBOX



渡辺(宏)さん

女房と1週間ヨーロッパ旅行して来ま
した。(但し団体)

菊池さん

久々に卓話をさせていただきます。ウ
シロにアミダ様がおいでになると楽な
のですが、今日はどうなりますやら…
…。

藤田(紘)さん

娘の大学入学が決まり、巣立ちの季節
を迎えることになりました。

樺山さん

めっきり春らしくなりました。公私共
多忙に成ります。

外山さん

菊池会員の卓話を楽しみにしています。

佐野さん

菊池会員の卓話楽しみにしています。

佐藤(武)さん

菊池渉さん卓話を楽しみにしておりま
した。

金沢さん

雪のため栄町から出てくると1時間半
かかり、3～4回休み、皆さんに迷惑
をかけてすみませんでした。



2月28日分

¥10,000

卓話

「砂漠の宗教とオアシスの宗教」

菊池 渉 会員



私がこの様なことを考え出したのは、
湾岸戦争の時にテレビを見ておりました、
イスラム教とはどんな宗教なんだろう、
毎日毎日戦争をしている様子を見ており
まして、イスラム教とは戦争の好きな宗
教なんだと考え、お寺の話もマンネリ
化して来ているし、そろそろ別の話でも
と考え、イスラム教でも勉強してみよう
かと思ったのが発端です。

浦佐にある国際大学の中に中近東研究
室がありまして、そこで少し教わったり
刺激を受けましたので、そんなことを話
せればと思っております。

異文化とまで行かなくとも、一寸自分
と違ったものに遭遇しますと驚いたり、
戸惑ったり、この位はまだいいほうで時
には排除してしまいます。

私達は理解し合う「わかる」という言葉を良く使うわけですが、その時にどんな漢字を当てるか、解る、分る、判ると色々と場合にあわせて使い分けておりますが、私はその中で「分る」という字の持っている意味、これも大事なんだなあと思っております。仏教の教えですが、「分る」ということは俺とお前の違いが分るということです。

私達は仕事のことや家庭の中で「わかったか」という言葉は、俺の言うことを聞けという意味を含んでいる。これが私達の自分の世界にしか居ない自分の分限を越えられない、そんなところにあるのかなあと思っております。

手紙の書き方にしても日本では住所、氏名の順に書きますが、西洋では名前から順次で全く日本と正反対に書いてゆきます。それはどこに主眼をおいているか、全体の中から掌握してきて私はここに有りとする方法と、現に我れ有りとし、そこから私の環境を規定して行く方法と、そもそも感覚の違いがあると思います。

今一つ顕著なのは、キリスト教文化によるものと思いますが「ドア」です。私のところは寺ですのでドアは有りませんが、ドアというのは外と内とを隔てて入ったり、出たりするので、仏教では門と言います。

このドアですが、ホテルでは廊下から室内へ押して入るものです。日本では家の中が狭いものですから廊下の方に引いて入りますが、本来は押して入るもので

す。それは廊下は公、部屋の中はプライベートの私、公から私へは押入る、逆に言えば私は公を守る為にドアを付けて門で止める。

中世の城壁国家等を見ますと、東西南北に門を作って外から押し入れる、中から引入れる。又、内を守る為に門をかけて門番が門を守っている。それは外から内を守るという原則になっております。

西洋ではお客様を通すところは応接間で、そこへは家族も誰でも皆が自由に入れる。時間が過ぎれば各自の部屋に戻る。各部屋は私で、皆が寄るところは公です。その間ドアを設けてしっかり区別しておく、こんなところも砂漠の宗教とオアシスの宗教との違いではないかと、これは私の推論であります。

聖書には旧約聖書と新約聖書がありまして、キリスト教の人は2つのものを聖書と呼んでおります。ユダヤ教の人は旧約のみ聖書と呼んでいる。その旧約聖書の中に天地創造、神様が天と地を造り、そして人間を造って、動物を造って、1週間のうちにその業を成さると記されています。

そしてエデンの園という言葉が次の章に出てきます。禁断の果実を食べてエデンの園を追われることになる訳ですが、次の章にアダムとイブの子供達の話が出てきます。カインとアベルと言う男の2人兄弟です。兄のカインは田を耕す民となり、弟は遊牧の民となりました。

ユダヤ教の神様は少し臍曲りと見えて、

弟の差出す肉類は受け取るが、兄の出す穀類は拒絶なされる。そこから妬みや行き違いがありまして、兄が弟を殺してしまった。全ての創造、物を造り出す、生産出産作物の収穫全てのものの造り出す力というものは神の業である。神様の仕事である私達は約束事に則って部分的にお借りしているのである。旧約聖書は特にそうですが、色々の説話で何度も何度も確認させている。子供を生むというこ

とは実は神の業を契約のもとで借りてやっていることです。収穫も又そうであります。

次にモーゼの十戒の6番か7番に「汝殺すなかれ」という章があります。汝殺す勿れと教えられているユダヤ人が、キリスト教の人がいろんな戦争を犯してきている。誠に理解に苦しむところである。

最後に、公と私とをはっきり区別して行くことを強く訴えて終りと致します。

【1996～97年度 R.I. テーマ】

BUILD THE FUTURE
WITH ACTION AND VISION

築 け 未 来 を
行 動 力 と 先 見 の 眼 で



例会案内

三条RC	3月6日例会	卓話 (ローター アクト会長)	刈谷隆二殿	(ローター アクト委員)	佐藤吉平会員
	3月13日例会	卓話	林 光輝会員		
三条南RC	3月11日例会	卓話	田中久作会員		
	3月18日例会	卓話	坂本洋司会員		
	3月25日例会	早朝例会			
三条北RC	3月12日例会	卓話	長谷川恵慈会員		
	3月19日例会	卓話 「レディース・パーテナー」 コンテスト 日本一			梨木美裕樹殿